

「いのち」と「暮らし」にアシスト

(会派 未来)

新田真一議会だより



三次市十日市東 3-6-38

TEL 0824-62-4171 (同 FAX)

Email info@nitta-shinichi.com

N014



9月議会定例会

一般質問

下水道工事について

平成十五年に定められた設計基準による小型マンホールが、二〇年を経た今も使われている。



周辺の他の市に問い合わせたところ、三次市が使用しているレジン製小型マンホールはほぼ使用されていない。理由は高価であり、他のマンホールで基準を満たしていると回答を得た。

三次市として基準を見直すことで、令和一七年完了予定の下水道工事整備費の削減につながると思われる。

水道局長

設計基準書については二〇年を経過しており基準の見直しをしていく必要がある。他市の基準書を調査し見直しをはかっていく。

学校の働き方改革について

教育委員会の一九時には学校退校の指導により、学校での超勤は減少している。しかし、持ち帰りの仕事が増えたのでは、業務改善は前進したとはいえない。

ICTの活用により自宅での仕事が可能になっている。また、児童生徒のタブレットから、担任への課題の提出が可能になっている。持ち帰り仕事の現状を把握し検証する必要がある。

教育長



仕事を持ち帰らないことが原則ではあるが、実態は多くの学校の教職員が仕事を持ち帰っている。文科省が今年実態調査を行っている。その内容も参考にしながら業務の改善の参考としたい。

教育委員会がすべきことは、部活指導員の配置、読書活動推進員の配置等人をつけ、教職員のしている業務を他で補うそうした条件整備を行うことにある。そうしないと業務の削減にはならない。

教育長

部活指導員・読書活動推進員の増員をはかれるよう人材確保に努めたい。

(部活指導員は現在7名の配置、読書活動推進員は一名が一〇月より配置数校を担当予定)

*読書活動推進員

学習環境・書架等の学校図書館備品の整備をすすめる。本年度より一名が予算化された。(学校図書館の司書)



補正予算

「みよし」こども診療所開設

診療所特別会計繰り出し金

五四五二万五千円

市内の開業小児科医院不足を危惧し、安心して子育てできる医療環境整備のため公設の「みよしこども診療所」を福祉保健センター三階に設置しようとするものです。来年四月開設 五月診療開始予定です。



学校給食受配校の改修工事

▲七八七三万七千円

来年の九月より新しい給食センターから給食が旧市内各小中学校へ配達され中学校は新たに給食開始となる。そのため小中学校では、給食受け入れのための設備が必要となる。また、学校によっては給食用エレベーターの整備が必要と予測されていたが改修の必要なしと判断され工事が不用になった。給食の配送については現場の状況をより調査しおいしい給食の提供となるよう要望した。

意見書の提出

「少人数学級・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げに係る意見書」を提案
全員一致で採択されました。

「安倍晋三元総理の国葬の中止を求める意見書」を提案

国葬に法的根拠がないこと、国権の最高機関である国会の論議がないこと、安倍政権の評価は国民の間でも大きく分かれていること等を理由としましたが、賛成一〇 反対十二で否決されました。

請願・陳情

「旧」伊賀和志地区の鉄道資産を活用したトロッコ運行実証実験の実現協力」

「田幸保育所での「三才未満児保育」のさらなる充実を求める」

いずれも全員一致で採択

予算決算常任委員会

九月定例会では、令和三年度の決算審議が行われました。
各分科会での報告をうけ自由討議がおこなわれました。

教育民生分科会からは、ICT 教育についての報告がおこなわれました、ICT 支援員(現在4名が配置され各学校を巡回しサポートを行っている)の増員の必要性和 ICT 技術を使いこなせる教師の習熟度をあげることが教育に直結すると報告されました。わたしは、「教育の目的を達成するために、ICT 技術は有効なツールであることは間違いないが、教育の目的そのものではない。ICT を有効活用し目的に迫る者もいれば、他の方法により教育の目的に迫る者もいる。」と意見を述べました。

ICT 教育：パソコンやタブレットを活用し授業を行う。学習に必要な資料を検索したり、授業に必要な情報の共有、個別の添削指導などを行う。

決算認定

・定住対策について

空家情報バンクへの問い合わせ件数が637件と大幅に増加し14件の成約につながったが、昨年度から導入された定住コーディネーターや、移住者への住宅取得支援事業なども併せてさらに取組みを強化していく必要性を意見しました。

・子育て支援について

保育士人件費に関わる不用額が多いことを質問しました。事業によっては、子どもの人数が少なかったり実績が見込みを下回ったとの回答でした。しかし慢性的な保育し不足によりパートなど一年中募集がかけられても応募なしの実態もあり、正規職員の増が必要であることを訴えました。

不用額：予算に計上されながら、支出されなかった金額

・新学校給食調理場について

(新学校給食調理場設計・造成設計が終わり現在敷地造成工事・調理場建設に着手しました。令和5年9月より稼働予定です。)

給食を受け取る学校の施設整備が必要となるが、実態をよく調査する必要がある。

・市費教員の採用不足について

市費教員が採用予定の人数に達していない実態がある。成果では、三次市学力テストがポイントを伸ばしたとなっているが、全国学力テストでは、結果が思わしくなかった。教員不足が影響していないか質問しました。研修を充実させるの回答にとどまりました。

・部活指導員の配置

昨年度の部活指導員は、配置の希望は6校20クラブあったがマッチングがうまくできなかったことと、指導者の不足により7名の配置になった。来年度より、地域移行が始まる市内約50ある中学校のクラブへの部活指導員の配置は極めて困難納状況にあるが、指導者の確保・地域のクラブ加入に伴う保護者負担軽減等 具体策はまだ示されていない。



十日市中の給食搬入の施設